

みんなの水

昔、私の家にある防火水そうを父がそうじしていた時、私は、

「そんなに水使って、もったいなくない？」と父に聞いてみました。すると父は、

「山の水やから大丈夫やで。」

と言いました。でも、庭のホースで遊んでいた時は、

「村の水やからあんまり無駄遣いしなや。」と言われてました。その時はふーん、そうなんやくらいに思っていました。今になってよく考えてみると、一体何が違うのかなあと思います。家族に聞いてみました。山の水は、雨が降ったりして山から流れる川の水とのことでした。村の水というのは、浄化そうできちんと浄化している、お金をはらって使う飲める水とのことでした。昔は浄化そうや水をためるタンクなどが設備されていなかったた

天理市立福住中学校 三年

乾谷 萌李

めおとなりの井戸の水をもらいに行ったりしていたそうです。断水なども多く、苦労したと言っていました。

私の住んでいる地域は、今は水不足ということはありません。それでも、今でも水不足の国や地域は数えきれないほど存在しているのです。そもそも水不足の原因は、人口の増加によって水の使用量が急増したことだそうです。食糧を増産する為や、途上国での工業化や生活の物質的な向上によって、水の消費は驚くことに五十年前の三倍になっています。人口増加の二倍の割合で水消費が増えていくのです。水質汚染や地球温暖化により世界各地の雨の降り方が大きく変化したりと、乾燥化が進んだり洪水を引き起こしたりと、かえって飲み水が不足する地域が増え、地球の水不足問題はどんどん深刻なものになって

います。ヨーロッパの方では、飲食店などでワインやビールは無料でも水は有料という、日本では信じられないようなことが普通だったりもします。

私は今まで、いくら世界が水不足と聞いても自分には関係のないことと、心のどこかで思っていました。しかし、水不足について調べてみたところ、なんと水不足の原因の大部分はアメリカ・EU・そして日本など、先進国の水の大量消費によるものだというのです。さらに大きな問題として、輸入に頼っている日本は、その生産に必要な水を間接的に消費していることになるそうです。つまり、輸入された食べ物を食べるということは、海外で使われた数トンの水を消費していることと同じということになるのです。私たちの普通の生活のために、想像以上に発展途上国の生活を破壊してしまっているのだと、初めて知りました。

水は生きていくためには必要不可欠です。日本は水が豊富な方ですが、自分たちさえ良ければそれでいいというわけではありません。私たち一人一人が水の使い方を見直さなければ

ばならないのです。

そのためにはまず、知ることが大事だと思います。世界の水不足のことや、水の無駄遣いはしていかないかなど、少しずつでも知っていくことがきつとわずかでも後々地球のためになると思います。私たちが今使っている水は私たちのものではありません。地球上の生物全員で共有しなければいけない、大切なものなのです。

今すぐとはいませんが、地球のために、そして私たちのためにも、水に対しての意識を変えるのが私たちの役目なのではないでしょうか？